

沖縄県公文書館 団体見学 上映リスト

①



『琉球の風物』1938年（昭和13）【11分】

制作：日本短編映画社、大日本文化映画製作所
戦前の沖縄の風物を記録した短編映画。1938年（昭和13）来沖した日本民芸協会による企画。南国特有の植物（ソテツ、アダン、リュウゼツラン等）や、首里城周辺（正殿、守礼門、欽会門、円覚寺等）、真玉橋、孔子廟、浦添ユードレなどの史跡、加那よー、浜地鳥、組踊などの舞踊や、糸満の漁業、行商、市場の婦人達、空手の演舞、葬式の行列などが映しだされている。

②



『琉球の民芸』1938年（昭和13）【11分】

制作：日本短編映画社、大日本文化映画製作所
『琉球の風物』と同時に制作された日本民芸協会の短編映画。琉装の女性による芭蕉の糸績みの様子や腰機による織物の制作、紅型の着尺や筒描きに風呂敷の制作、壺屋でのろくる成形の様子や登り窯での焼成などが紹介されている。

③



『海の民 沖縄島物語』1942年（昭和17）【28分】

制作：東亜発声映画

首里城、守礼門で「首里古城」を唄う県立第二高女生。糸満の勇壮な追い込み漁、家を守る女たち、魚売り。ハーリーは「海洋制覇の精神をここに伝える」と賞賛する。最後は拓南訓練所の生徒たちの唱和。

④



『沖縄戦 No.2』1945年（昭和20）【29分】

撮影：米海兵隊

米海兵隊が撮影・編集した沖縄戦の記録映像。沖縄空爆、本島上陸、地上戦の様子、手榴弾投入、火炎放射器で集落を焼く、パラシュートで物資を投下、シュガーローフの攻防戦、米軍につかまった住民たち、収容所の中のジープ、ブルドーザーと米兵、泥道を行くトラックなど。

⑤



『THE OKINAWAN 沖縄』1960年（昭和35）【43分】

制作：宮本ハロルド

1960年（昭和35）、アメリカ民政府の協力によりハワイ移住者が製作した「琉球列島の物語」。当時の沖縄の様子を、産業（さとうきび作り、工芸品）や年中行事（お盆、運動会など）を紹介しながら、島の発展の様子を描く。摩文仁の慰霊碑、国際通り、名護市陸上競技場、琉球大学の建物、南風原の大城かすり工場、糸満の綱引きなどがある。